

市町村名		多良間村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-①	美化緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容	快適な観光地を形成するために、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a)当初予算額	5,968	7,068	6,742	6,457
	(b)予算現額	4,722	4,727	4,308	2,782	4,525
	(c)増減額(b-a)	▲1,246	▲2,341	▲2,434	▲3,675	▲3,088
	(d)繰越額	—	0	0	0	0
	A.計(b+d)	4,722	4,727	4,308	2,782	4,525
	B.執行済額	4,722	4,727	4,308	2,782	3,118
	うち交付金充当額	3,777	3,781	3,446	2,225	2,494
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	68.9%
予算の状況の説明	当初、4名の作業員による事業を実施予定であったが、欠員により配置できない期間が生じ、事業規模を縮小して実施したため、3,088千円を減額した。また、予算減額後の期間において、作業員の確保に努めたものの、配置できない期間が生じたことにより、1,407千円の不用が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	目標 (      年4回 )	( 美化・緑化の実施 )	( 公園9カ所の 美化・緑化の実 施 )	( 公園9カ所の 美化・緑化の ) 実施	
	実績	年3回	美化・緑化の実施	公園9カ所の 美化緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
実績						
達成状況説明	・夏季シーズンより、作業員3名を配置する事ができ、各施設の美化・緑化の実施回数が増えたが、年間を通して確保できた作業員は1名となり、常に美化・緑化の行き届いた9カ所の施設の提供は十分に行えなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	目標 (      )	(      )	(      )	( 80%以上 )
	実績				76%	
	【参考指標】 観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施。農村公園、ふるさと海浜公園、八重山遠見台、ミヅ公園等9ヶ所。	目標 (      )	( 9ヶ所 )	( 9ヶ所 )	( 9ヶ所 )	(      )
	実績		9ヶ所	9ヶ所	9ヶ所	
進捗状況説明	・観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるかの満足度調査については、1月から3月にかけて空港、港、夢パティオたらま(宿泊施設)の3ヶ所でアンケート用紙を設置し実施した。主に仕事や観光で来島された100名の方が回答し集計した結果、満足した(やや満足含む)の回答は76%となり、目標の80%を達成することは出来なかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・作業員の不足により、年間を通して美化・緑化の行き届いた施設の提供を行えなかったことが、達成できていない要因と考えられる。</p>	<p>・雇用条件の見直しを行い、求人情報の周知を強化し、人員を確保する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・雇用条件の見直しを行い、求人情報の周知を強化し、人員を確保する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,118	3,118	2,494	624	0
<pre> graph LR     A[多良間村 3,118千円] --- B[賃金 2,495千円]     A --- C[共済費 377千円]     A --- D[需用費 246千円]     B --- E[賃金]     C --- F[社会保険料]     D --- G[消耗品、燃料費]           </pre>				

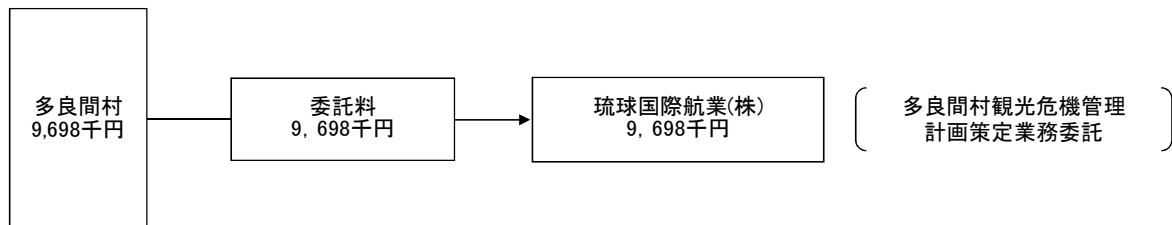
資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○年間を通して対応できる作業員等であり、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○清掃作業に必要な人件費や需用費等であり適正な予算規模と考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	多良間村観光危機管理計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	村内において自然災害や人的災害が発生した際に、訪れている観光客への対応の指針を定めた「多良間村観光危機管理計画」を策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R1 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,990				
		(b)予算現額	9,990				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	—				
		A. 計(b+d)	9,990				
	B. 執行済額		9,698				
	うち交付金充当額		7,758				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		97.1%				
予算の状況の説明		不用額は委託費の入札差金によるものであり、事業は計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	関係事業所勉強会	目標	( 3回 )	( )	( )	( )	
		実績	2回				
	庁内検討委員会	目標	( 3回 )	( )	( )	( )	
		実績	3回				
	観光危機管理対応訓練	目標	( 1回 )	( )	( )	( )	
		実績	1回				
	観光危機管理計画の策定	目標	( 策定 )	( )	( )	( )	
		実績	策定				
達成状況説明	各種勉強会、検討委員会、対応訓練などを実施するとともに、「多良間村観光危機管理計画」を策定し、活動目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)
	多良間村観光危機管理計画の策定完了	目標	( )	( 策定完了 )	( )	( )	( )
		実績		策定完了			
	【R1成果目標】 策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練(年1回以上)を実施することにより、当該計画について検証する。	目標					—
進捗状況説明		多良間村観光危機管理計画を計画どおり策定し、今年度の成果目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>村を訪れる観光客の安全確保を図るには、策定した観光危機管理計画が機能するを活用した避難訓練を年1回以上実施し、当該計画についての検証を行う。</p>	<p>村を訪れる観光客の安全確保に繋げるため、策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練を年1回以上実施し、当該計画についての検証を行う。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練を実施し、当該計画について検証を行い、村を訪れる観光客の安全確保に繋げる。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,698	9,698	7,758	1,940	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。 ○不用額5%未満であり、予算規模は適正な規模と考える。 ○費目・用途については、補助金支出時に検査を実施しており事業目的に必要な支出と判断</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	優良繁殖雌牛導入支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成27~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。 優良繁殖雌牛を導入する際に購入価格の税抜価格の1/2以内で最高40万円までを支援することにより、母牛の改良を推進する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R3 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	4,500	4,500	7,500	8,000	
		(b)予算現額	4,500	4,500	8,000	8,000	
		(c)増減額(b-a)	0	0	500	0	
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	4,500	4,500	8,000	8,000		
	B.執行済額	600	1,800	6,653	7,814		
	うち交付金充当額	480	1,440	5,322	6,251		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	13.3%	40.0%	83.2%	97.7%		
予算の状況の説明	今年度の導入は、20頭予定の20頭が導入されており、不用額の186千円は補助額上限の40万円に満たない個体があったものによる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	優良繁殖雌牛の導入頭数:20頭	目標	( 15頭 )	( 15頭 )	( 20頭 )	( 20頭 )	
		実績	2頭	6頭	17頭	20頭	
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	今年度の導入は20頭予定の20頭が導入され、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)	
		目標	( )	( 支援(20頭)の完了 )	( )	( )	( )
	実績		支援(20頭)の完了				
	【R3成果目標】 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合112.5%以上	目標					112.5%以上
進捗状況説明	優良繁殖雌牛導入に向け、20頭の支援を完了し、目標を達成した。						

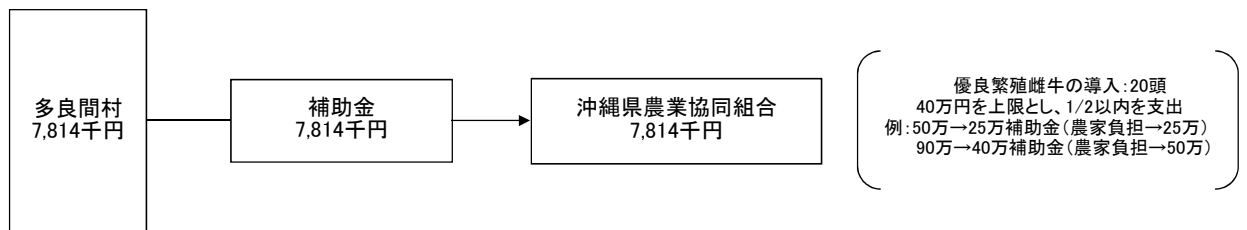
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	農家への説明会の実施、農家の要望を年度当初で把握できた事が目標達成の要因と考えられる。しかし、購買実施主体との導入調整がスムーズにいかず、導入が遅れた経緯がある。	購買実施主体との導入調整をスムーズに行う必要がある。

**今後の取り組み方針**

引き続き農家への説明会や要望調査、購買実施主体との導入調整を早期に行い、スムーズな事業の推進に向けて取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,677	7,814	6,251	1,563	8,863



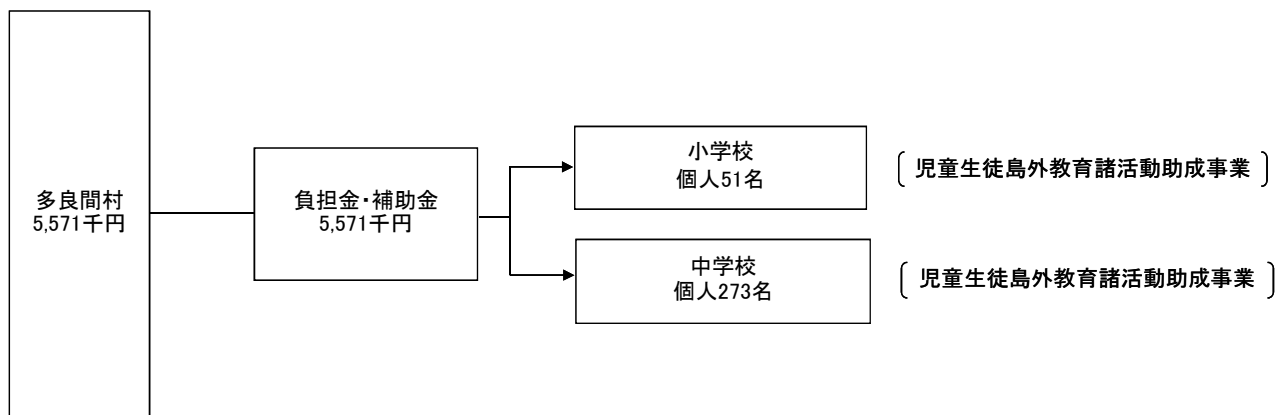
資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○農業協同組合は県内外での導入実績があり、妥当だと判断
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○飼養頭数の2%で年間時価保留頭数の1/3程度なので規模は適正
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○負担割合は1/2以内としており他の1/2リース事業などと比べても妥当と判断
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、補助金支出時に検査を実施しており事業目的に必要な支出と判断

市町村名		多良間村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	児童生徒当該教育諸活動助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒の意識の高揚、スポーツの技術力向上等、未来を拓く子どもたちの能力向上を図る。当該で実施される各種大会へ児童生徒を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	5,350	5,164	4,725	3,071	
		(b) 予算現額	4,592	3,948	4,725	5,603	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 758	▲ 1,216	0	2,532	
		(d) 繰越額	—	0	0	0	
	A. 計(b+d)		4,592	3,948	4,725	5,603	
	B. 執行済額		3,543	2,552	3,522	5,571	
	うち交付金充当額		2,834	2,041	2,817	4,457	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		77.2%	64.6%	74.5%	99.4%	
予算の状況の説明		当初予算を3,071千円を見込んでいたが、中学校音楽発表会等の沖縄県大会に出場決定に伴い、派遣費が不足となったため、他事業から2,532千円を流用した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	島外で開催される教育諸活動に参加することで、離島の小規模校ではできない他地域との交流や実践をとおし、精神面の鍛錬・スポーツの技術力向上等が図られる。	目標	( 派遣実施 )	( 派遣実施 )	( 派遣実施 )	( 派遣実施 )	
		実績	派遣実施	派遣実施	派遣実施	派遣実施	
			目標	(      )	(      )	(      )	
		実績					
達成状況説明	大会32回、派遣延人数324人を派遣。今年度も天候に左右されず、全体会に派遣でき、児童生徒や引率者の交通費及び宿泊費の助成も計画通りに実施できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	(      )	(      )	(      )
		実績		89.7%			
			目標	(      )	(      )	(      )	(      )
			実績				
進捗状況説明	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートの結果、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答が89.7%となり、成果目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初想定していた以上に派遣回数が増加したことから、他事業から予算を流用して対応した。	児童生徒の活躍によって、派遣費の増減が生じるのはある程度やむを得ないところではあるが、実績を基に適切に予算確保に努める。
今後の取り組み方針		
島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、引き続き島外で実施される各種大会への参加を支援する。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,571	5,571	4,457	1,114	0



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○小体連、中体連、引率者の派遣事業等に限定しているため、支出先の選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担として、補助金上限額を超える分は負担してもらっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算段階で、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。



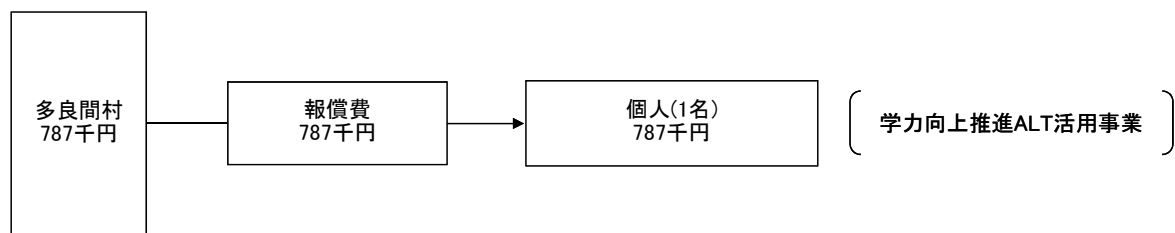
市町村名	多良間村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	学力向上推進ALT活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	多良間村教育委員会・教育課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	国際化社会に対応できる児童生徒の学力向上を図るため、ALTを招聘し国際感覚を養いながら児童生徒の英語力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(b) 予算現額	394	788	788	788	788
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	394	788	788	788	788
	B. 執行済額		394	784	787	787	787
	うち交付金充当額		314	627	629	629	629
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.5%	99.9%	99.9%	
	予算の状況の説明		当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	外国語指導助手(ALT)招聘年間20回		目標 ( 10回の招聘 )	( 20回の招聘 )	( 20回の招聘 )	( 20回の招聘 )	
			実績	10回の招聘	20回の招聘	20回の招聘	
			目標 ( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	外国語指導助手(ALT)を年間20回招聘することにより、学校生活の様々な場面における交流や触れ合いの中で異文化に対する興味・関心を喚起し、理解を深めることにより、国際理解教育の充実を図り、国際感覚の醸成に寄与することに繋がった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。		目標 ( )	( 80% )	( )	( )	( )
			実績	81%			
	・中学校 英検の合格率50%以上		目標 ( )	( 50% )	( )	( )	( )
			実績	56%			
進捗状況説明	小学5・6年生を対象にアンケート調査を行った結果、81%が「英語に対する興味・関心が高まった」と回答し、目標を達成した。中学校生徒の英検の合格率が56%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動や英語の授業において、児童生徒のコミュニケーションを図ろうとする態度に二極化がみられる。</li> <li>・児童生徒の英語力に差があるため、外国語活動や英語の授業において難しいと感じる児童生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では、徐々に英語に慣れ親しむといったステップを踏んだうえで「英語の音声と文字との関係を学ぶ」授業カリキュラムを展開する必要がある。また、中学校では、小学校の外国語活動の授業パターンや活動内容を十分に把握し、新たに文字を扱うことによる「文字への抵抗感」をなくすような授業づくりをする必要がある。</li> <li>・ALTの学校現場でのより効果的な活用について検討する必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では、英語の音声と文字との関係を学ぶ指導の充実を図る。また、中学校では、新たに文字を扱うことによる「文字への抵抗感」をなくすような授業カリキュラムの推進を図る。</li> <li>・ALTの資質向上のために小中合同研修会を設けることを検討し、その研修内容の精査によりさらに充実を図る。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
787	787	629	158	0



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語指導助手(ALT)は、調査及び考慮の上選定しており、妥当であると考え。</li> <li>○不用額はなく、適正な規模と考える。</li> <li>○費目・使途は予定通りで、目的に即した適正なものであった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村						
<b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-③	村営学習塾開設事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	多良間村教育委員会・教育課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	学校外の学習環境を整備することで、学力の向上を図るため、村営の学習塾を開講する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		16,362	15,012	15,100		
			16,362	15,012	15,100		
			0	0	0		
			16,362	15,012	15,100		
			15,012	15,012	15,012		
		うち交付金充当額	12,009	12,009	12,009		
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	91.7%	100.0%	99.4%		
		予算の状況の説明	当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。なお、88千円の残額は入札残である。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		村営学習塾の開設	目標	( 開 設 )	( 学力向上 )	( 開 設 )	(            )
		実績	開 設	学力向上	開 設		
	目標	(            )	(            )	(            )	(            )		
実績							
達成状況説明	村営学習塾を開設して、学校外学習支援を強化すること、学びたいと希望を持つ児童生徒を受け入れることで児童生徒の学力向上に繋がった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数)-8ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語)-13ポイント以上	目標	(            )	( 平均正答率の差 )	( 小学校-8P以上/中学校-13P以上 )	( 小学校-8P以上/中学校-13P以上 )
		実績		平均正答率の差	小学校-4.2P/中学校+4.0P	小学校-5.2P/中学校+5.7P	
	<b>【参考指標】</b> 高等学校入学者選抜学力検査全員合格	目標	(            )	( 受験生全員合格 )	( 受験生全員合格 )	( 受験生全員合格 )	(            )
		実績		受験生全員合格	受験生全員合格	受験生全員合格	
進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差については、小学校(目標:-8P以上 実績:-5.2P)、中学校(目標:-13P以上 実績:+5.7P)ともに目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や部活動等の関係で村営学習塾の出席率が低くなる場合がある。</li> <li>・児童生徒の学力に差があるため、児童生徒によって学習ニーズが異なる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村営学習塾の開講日程について、学校側で考慮してもらえるよう 調整する必要がある。</li> <li>・児童生徒の学力に応じた授業カリキュラムを検討する必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・村営学習塾の出席率向上に向けて、学校側と情報の共有及び協働体制の構築を図る。</li> <li>・個々の学習ニーズに対応できるような授業カリキュラムの推進を図る。</li> </ul>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	15,012	15,012	12,009	3,003	0
<pre> graph LR     A[多良間村 15,012千円] --&gt; B[委託料 15,012千円]     B --&gt; C[一般社団法人教育振興会 15,012千円]     subgraph D [ ]     C     end     style D fill:none,stroke:none   </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額がほとんどなく、予算規模は適正な規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○教材費は受益者に負担してもらっており妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものと判断する。

市町村名		多良間村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	多良間中学校グラウンド全天候型改修事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成29~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	雨天後のグラウンド環境の悪化による大会の中止等をなくすため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修し、児童生徒や村民等の体育環境を改善する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R2 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	5,743	133,368			
	(b)予算現額	4,752	19,919				
	(c)増減額(b-a)	▲991	▲113,449				
	(d)繰越額	—	0				
	A.計(b+d)	4,752	19,919				
	B.執行済額	4,752	19,861				
	うち交付金充当額	3,801	15,888				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.7%				
予算の状況の説明	複数年度での工事実施へ計画を変更したことから、予算を減額(113,449円)した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	施設整備工事の実施	目標	( 実施設計の作成 )	( 施設整備工事の実施 )	( )	( )	
		実績	実施設計の作成	施設整備工事の実施			
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	今年度計画していた施設整備工事を実施することができ、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)
				( 実施設計の作成完了 )	( 一部施設整備工事の完了・排水整備 )	( )	( )
	一部施設整備工事の完了・排水整備	実績		実施設計の作成完了	一部施設整備工事の完了・排水整備		
	【R2成果目標】 村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止・日程変更等の回数 0回	目標					0回
進捗状況説明	今年度計画していた一部施設整備工事(排水整備)を完了することができ、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ゴム資材等の価格が当初の想定よりも高額であり、単年度での工事完了が困難となった。	工事工程を見直し、適正な事業計画を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
計画的に工事が進められるように事業計画を変更し、工事完了を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,861	19,861	15,888	3,973	0
<pre> graph LR     A[多良間村 19,861千円] --&gt; B[委託料 1,890千円]     A --&gt; C[工事費 17,971千円]     B --&gt; D["(株)大協企画コンサルタント 1,890千円"]     C --&gt; E["(株)系数興業 17,971千円"]     D --- F["多良間中学校グラウンド全天候型改修事業 施工管理委託業務"]     E --- G["多良間中学校グラウンド全天候型改修事業 施設整備工事業務"] </pre>				

資金の 用途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。 ○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-⑤	教育関連施設省エネ推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成29~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進
事業内容	環境保全のために、教育関連施設に環境負荷の少ないLED照明を整備し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R1 年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a)当初予算額	5,702	82,411		
	(b)予算現額	5,832	120,633			
	(c)増減額(b-a)	130	38,222			
	(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)	5,832	120,633			
	B.執行済額	5,832	115,301			
	うち交付金充当額	4,665	92,240			
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	95.6%			
予算の状況の説明	実施設計と現場調査により必要となった工事を追加するとともに、外灯のLED照明整備を追加するため工事請負費38,212千円を追加する。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	施設整備工事の実施	目標	( 実施設計の作成 )	( 施設整備工事の実施 )	( )	( )
		実績	実施設計の作成	施設整備工事の実施		
		目標	( )	( )	( )	( )
実績						
達成状況説明	教育関連施設に環境負荷の少ないLED照明の設置工事の完了ができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)
		目標	( )	( 実施設計の完了 )	( 施設整備工事の完了 )	( )
	実績		実施設計の完了	施設整備工事の完了		
	【R1成果目標】 二酸化炭素排出削減量 62,264kg	目標				62,264kg
進捗状況説明	予定していた全ての工事について、年度内で完了することができた。					

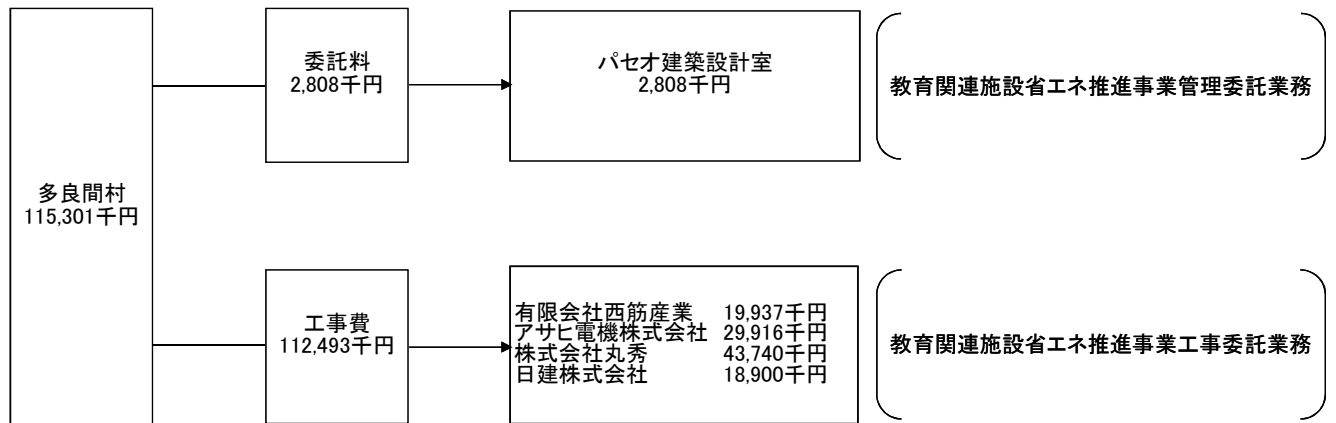
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	環境負荷の少ない照明整備が完了したことから、今後は児童・生徒・地域住民の地球温暖化や環境保全への意識向上が課題となる。	環境保全に向けた啓発活動にあたり、整備した施設において、抑制することができた二酸化炭素排出量を把握する必要がある。

**今後の取り組み方針**

整備した施設がどれくらい二酸化炭素排出を抑えることが出来たかを検証することで、児童・生徒・地域住民へ地球温暖化、環境保全意識の啓発に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
115,301	115,301	92,240	23,061	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。 ○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	多良間村						
<b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-⑥	多良間村就業意識向上支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ	
担当部課名	多良間村教育委員会・教育課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保等 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	<p>小学6年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」を実施する。          中学1年生を対象に、多良間村、宮古島市を中心に「中学生多良間村課題解決プログラム」を実施する。          中学2年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「職場体験(体験型キャリア教育)」を実施する。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,075				
			7,075				
			0				
			7,075				
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		7,020				
			5,616				
			0				
		執行率(%) (B/A)	99.2%				
予算の状況の説明	不用額は委託費の入札差金によるものであり、事業は計画どおりに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	沖縄本島へ小学6年生(10名)、引率者(5名)	目標	( 小学6年生(10名) )	(                    )	(                    )	(                    )	
		実績	小学6年生(10名)				
	宮古島市へ中学1年生(12名)、引率者(4名)	目標	( 中学1年生(12名) )	(                    )	(                    )	(                    )	
		実績	中学1年生(12名)				
	沖縄本島へ中学2年生(12名)、引率者(5名)	目標	( 中学2年生(12名) )	(                    )	(                    )	(                    )	
実績		中学2年生(12名)					
達成状況説明	沖縄本島へ小学6年生(10名)、引率者(5名)、宮古島市へ中学1年生(12名)、引率者(4名)、沖縄本島へ中学2年生(12名)、引率者(5名)を派遣のうえ、就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	(                    )	( 80% )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績		75%			
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績					
進捗状況説明	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートの結果、働くことへの興味・関心が湧いた児童生徒は、75%(小学校73%、中学校77%)となり、目標を若干達成できなかった。						

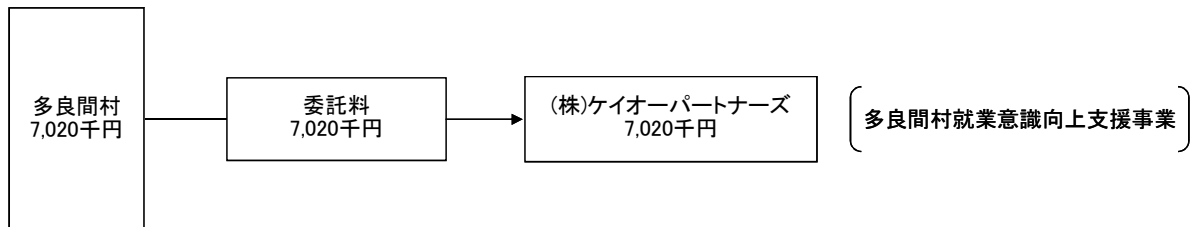
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内では、企業や職種が少なく、それにより興味・関心及び働くことへの意識が希薄である。</li> <li>・地域に対する興味・関心が薄く、多良間村の現状と課題もわからない児童生徒がいるという現実がある。</li> <li>・自分の将来像を明確に設計せず、島を旅立つ(15の旅立ち)生徒がいるという現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学6年生には、数多くの職種に興味・関心を持たせ、これまで以上に働くことへの意識付けを行う必要がある。</li> <li>・中学1年生には、地域への愛着と誇りを持ってもらい、多良間村の現状と課題を知る中で、中学生なりに分析することにより、地域について興味・関心を深めてもらうためのキャリア教育に力を入れる必要がある。</li> <li>・中学2年生には、村内にない業種や職種にふれ、村内の業種や職種との違いや共通項に気づき、村内外の産業や職業への理解を深めてもらい、将来の夢、生き方、進路等の選択に生かしてもらうための機会を増やす必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・職業観及び勤労観の喜びを深めるため、就業意識の向上のため、産・官・学が一体となった協働体制の構築を図る。
- ・多良間村の現状と課題を把握するためにキャリア教育の充実を図る。
- ・地域に還元できる児童生徒の育成のため、人材の還流を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,020	7,020	5,616	1,404	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額がほとんどなく、予算規模は適正な規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○派遣先での食費は受益者に負担してもらっており妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。

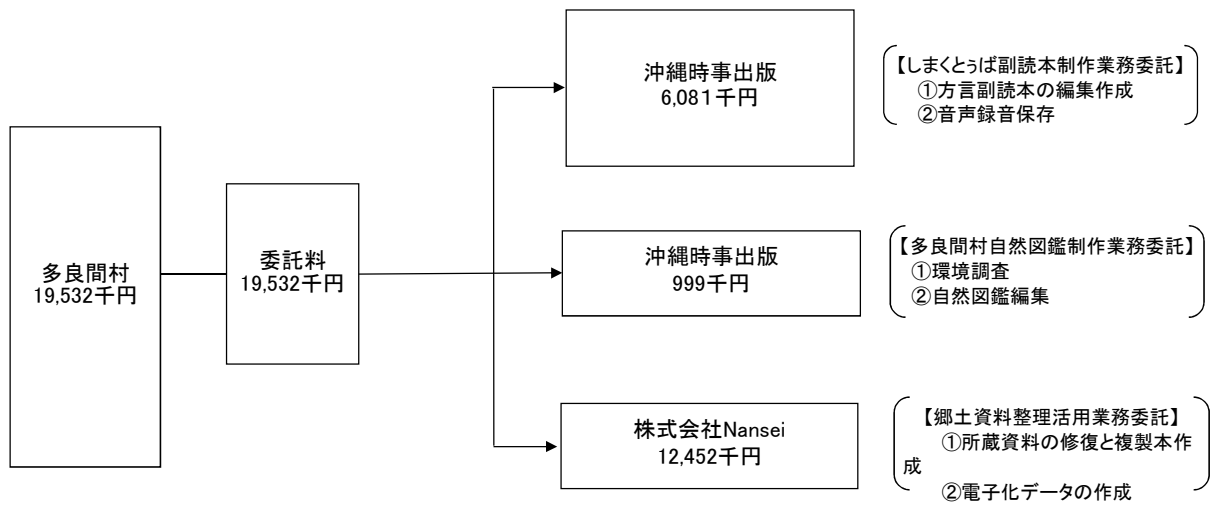
市町村名		多良間村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑦	多良間村自然文化継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	
担当部署名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)	
事業内容	多良間村の自然文化継承の保存のため、郷土資料の整理活用業務、自然図鑑の制作、方言副読本を制作する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R4 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	19,589				
		(b)予算現額	19,589				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)		19,589				
	B. 執行済額		19,532				
	うち交付金充当額		15,625				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	郷土資料、貴重資料等の修復、デジタル化及び公開	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	自然図鑑、しまくとぅば副読本の制作	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
実績		実施					
達成状況説明	郷土資料、貴重資料等の修復、デジタル化及び公開、自然図鑑、しまくとぅば副読本の制作を実施し、活動目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	所蔵資料の修復と複製本作成及び電子化データの作成完了(1期/4期)	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	自然環境の調査完了(1期/3期)	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	しまくとぅば副読本の発行	目標	( )	( 発行 )	( )	( )	( )
		実績		発行			
【R4成果目標】 ①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 227人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 591人以上		目標				①227人以上 ②591人以上	
進捗状況説明	所蔵資料の修復と複製本作成及び電子化データの作成完了(1期/4期)、自然環境の調査完了(1期/3期)、しまくとぅば副読本の発行について、計画どおりに完了し、成果目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵資料の修復を計画的に進めることが求められる。</li> <li>・自然環境(1期/3期)分の調査資料に関するとりまとめを進める必要がある。</li> <li>・完成したしまくとぅば副読本の活用が課題となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵資料の修復に関する優先順位を検討する必要がある。</li> <li>・自然環境(1期/3期)分の調査資料のとりまとめに向けて、監修委員に意見を求め、掲載内容とレイアウトを検討する必要がある。</li> <li>・完成したしまくとぅば副読本を総合学習や方言教室で活用していくことにより、「しまくとぅば」の保存継承や人材育成を進める必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵資料の修復に関する優先順位を検討し、複製本及び電子化データの作成を進める。</li> <li>・自然環境(1期/3期)分の調査資料のとりまとめに向けて、掲載内容とレイアウトの検討を進める。</li> <li>・完成したしまくとぅば副読本を活用し、「しまくとぅば」の保存継承に取り組むとともに、郷土に誇りと愛情をもてる人材の育成を推進する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,532	19,532	15,625	3,907	0



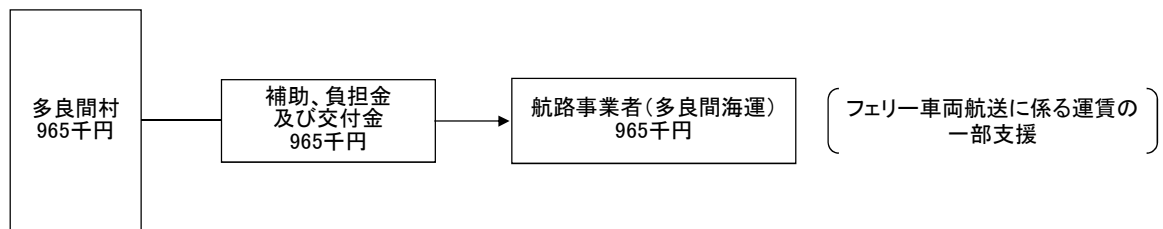
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっており、適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-① 多良間村自動車航送負担コスト軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-ア			
	担当部署名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島住民の利便性を確保するため、高額である多良間島⇄宮古島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,986	1,574	1,574	1,574	1,574	
		(b) 予算現額	986	1,079	1,169	1,178	1,178	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,000	▲ 495	▲ 405	▲ 396	▲ 396	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	986	1,079	1,169	1,178	1,178	
	B. 執行済額		389	932	952	965	965	
	うち交付金充当額		311	745	761	772	772	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		39.5%	86.4%	81.4%	81.9%	81.9%	
予算の状況の説明		実績を踏まえて、当初予算を計上したが11月末時点で利用実績が昨年度を下回っており、3月末までに利用増が見込まれないため補助金を396千円減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	宮古島⇄多良間島間の自動車航送コスト負担の軽減	目標	( 軽減 )	( 軽減 )	( 軽減 )	( 軽減 )		
		実績	軽減	軽減	軽減	軽減		
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明	117台分の予算に対し、71台の自動車航送に係る運賃補助に留まったが、年間を通じて運賃補助を実施し、宮古島⇄多良間島間の自動車航送コスト負担の軽減を図った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	宮古島市へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( 80%以上 )	( )	( )	( )	
		実績		97.5%				
		目標	( )	( )	( )	( )	( )	
		実績						
	進捗状況説明	島民へのアンケートの結果、97.5%の島民が宮古島市へ移動しやすい環境の構築が図られたと回答し、成果目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業に基づき、補助率を50%としているが、アンケートにおいて、負担軽減のためにさらに運賃を下げたいとの要望がある。</p>	<p>負担軽減につながる運賃設定を行い、補助率を検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>補助にあたり、適正な運賃設定を行い、負担軽減につながる補助率を設定し、利用者の利便性の向上と村民の負担軽減を図る。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
965	965	772	193	0



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、航路事業者が1事業者しかいないため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○実績の状況に応じ年度内で減額を行うなど、事業内容に見合った予算規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○利用者も一定の負担をしており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実績報告時において支出等に関する書類により確認適正であった。

市町村名		多良間村										
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	4-②	多良間村離島食品・日用品輸送費等補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(11)-ア							
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 III-9							
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島及び宮古島から多良間島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。											
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)											
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )											
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		
		(a) 当初予算額	7,247	8,567	9,100							
		(b) 予算現額	5,933	9,091	9,100							
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,314	524	0							
		(d) 繰越額	—									
		A. 計(b+d)	5,933	9,091	9,100							
		B. 執行済額	5,228	8,400	7,592							
		うち交付金充当額	4,182	6,719	6,073							
		次年度繰越額										
		執行率(%) (B/A)	88.1%	92.4%	83.4%							
予算の状況の説明		大型公共工事に携わる島外からの作業員が一時的に居住していたが、工事の終了に伴い、作業員が島を離れたため、執行率の低下がみられている。										
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況									
			H28年度		H29年度		H30年度		R1年度			
	目標		(日用品等の輸送経費及び作業経費の支援)		(日用品等の輸送経費及び作業経費の支援)		(日用品等の輸送経費及び作業経費の支援)		(      )			
	実績		日用品等の輸送経費及び作業経費の支援		日用品等の輸送経費及び作業経費の支援		日用品等の輸送経費及び作業経費の支援					
達成状況説明		村内4つの店舗において食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を行った。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)		H28年度		H29年度		H30年度		目標値(年度)	
	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -5.5ポイント以下		(      )		(沖縄本島との価格差の縮小)		( -5.5ポイント以下)		( -5.5ポイント以下)		(      )	
	実績		/		沖縄本島との価格差の縮小		-14.7ポイント以下		-16.2ポイント以下		/	
	目標		(      )		(      )		(      )		(      )		(      )	
	実績		/		/		/		/		/	
	進捗状況説明		宮古島から多良間島へ輸送される生活必需品等の輸送経費等の支援により、生活コストの低減を図った結果、沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小を図り、成果目標を達成した。 H27指数 127.2(事業開始前) H28指数 121.7(事業開始後) * H27と比較し、-5.5ポイント分、本島100に近づいた。 H29指数 112.5 * H27と比較し、-14.7ポイント分、本島100に近づいた。 H30指数 111.0 * H27と比較し、-16.2ポイント分、本島100に近づいた。									

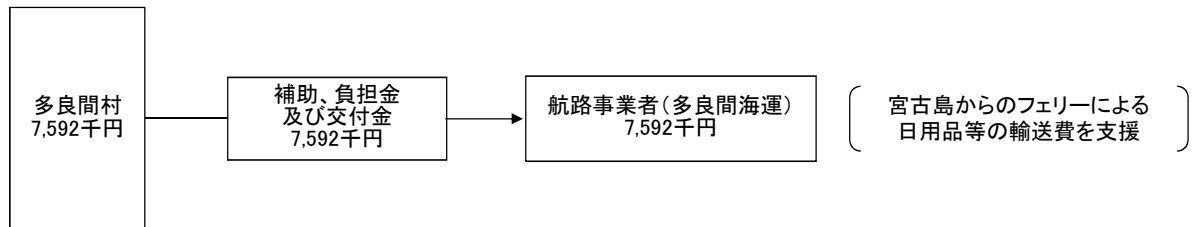
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	登録店舗の利用者が実際にどういった商品が値引きされているのか、セールがされているのかわかりにくく、実際の効果が実感しにくい状況になっていた。	事業効果の向上に向け、実施店舗への値引きシールやポップの配布活用だけでなく、利用者への認知を高めるために値引きした商品等を目立つところへの配置等を店舗側でも工夫していく必要がある。

**今後の取り組み方針**

事業開始前に比べて沖縄本島との価格差が縮小しており、事業効果が表れているものの、店舗利用者の認知度が低い状況にあるため、登録店舗の売り場における認知度を高めるための工夫を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,592	7,592	6,073	1,519	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○航路事業者が1事業者しかないため妥当である。 ○県と共同で助成するため総事業費の50%が村の事業費となる。 ○実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		多良間村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	防風林及びほ場境界止壁設置工事			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ-イ)	
担当部署名	多良間村 土木建設課	事業実施(予定)年度	平成28~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産の振興 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	防風林を保護し、さとうきびの収穫量の増を図るため、ほ場と防風林の境界に止壁を設置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
		5,000	35,000	38,000			
		4,806	34,560	38,000			
		▲194	▲440	0			
		-	-	-			
	B. 執行済額		4,806	34,560	37,998		
	うち交付金充当額		3,844	27,648	30,398		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%		
	予算の状況の説明		計画どおり予算執行ができた。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H31年度	R1年度	
	止壁を設置する。	目標	( 実施設計の作成 )	( 工事の完了 )	( 設置の完了 )	( )	
		実績	実施設計の作成	工事の完了	設置の完了		
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	農家との作付け調整を行った事で工事が順調に進み早期完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	止壁設置箇所における防風雨林帯への大型機械の進入回数 0回	目標	( )	( 実施設計の作成 )	( 止め壁設置工事の完了 )	( 進入回数 0回 )	( )
		実績		実施設計の作成	止め壁設置工事の完了	進入回数 0回	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	止壁設置箇所における防風雨林帯への大型機械の進入回数は0回であり、成果目標を達成した。						

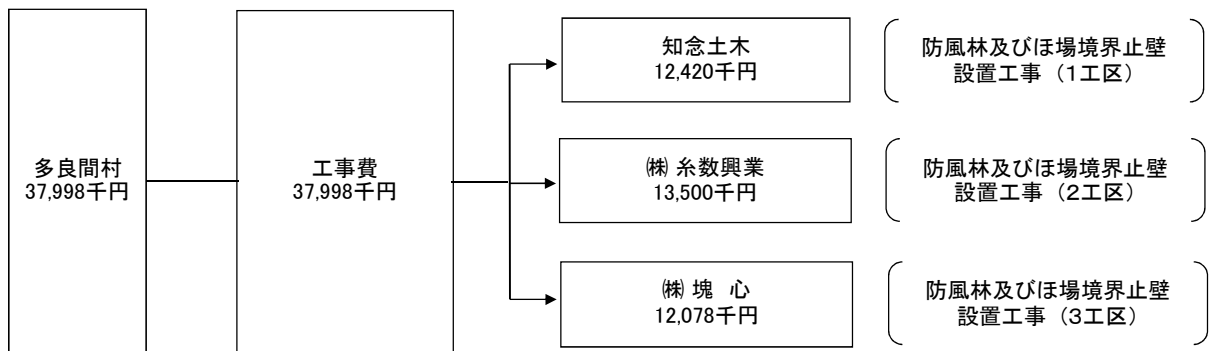
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	農家のと事前調整を行うことで工事を早期に発注することができ、目標の工事完了につなげた。次年度も農家との連携を図る。	農家と事前に作付け調整・工事箇所の確認を行い早期発注につなげる必要がある。

**今後の取り組み方針**

工事を円滑に進めるために農家と事前に作付け調整・工事箇所の確認を行う。完了後の止壁の管理について周知を行い、適正な管理に努める。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
37,998	37,998	30,398	7,600	0



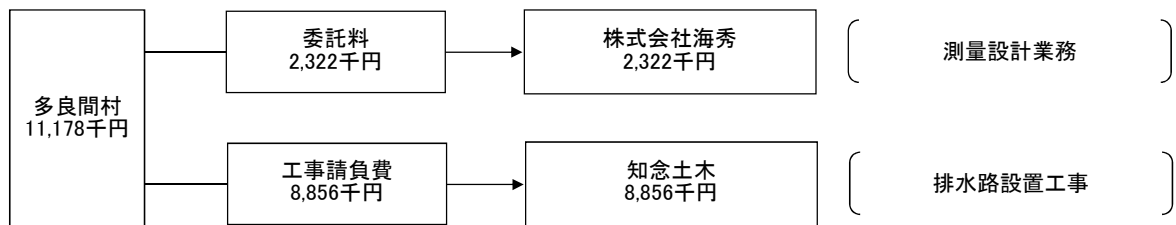
資金の用途の流れ、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当だと考える。 ○不用額はなく、妥当な規模である。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要と判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

<b>市町村名</b>		多良間村					
<b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
<b>事業番号・事業名</b>	6-①	多良間保育所前排水路設置事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
<b>担当部署名</b>	土木建設課	<b>事業実施(予定)年度</b>	平成30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-9		
<b>事業内容</b>	多良間保育所及び隣接する多良間中学校の付近に排水路を設置することにより、雨天時の水たまりをなくし、園児の送り迎え、生徒の登下校の安全を確保する。						
<b>効果発現年度</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,405				
		(b) 予算現額	11,261				
		(c) 増減額 (b-a)	1,856				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	11,261				
	B. 執行済額		11,178				
	うち交付金充当額		8,942				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99.3%				
予算の状況の説明		一部工法変更に伴い事業費の増が生じたことから、1,856千円を増額した。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	排水路約160mの測量設計と設置工事を実施する。	目標	( 設計・工事の完了 )	( )	( )	( )	
		実績	設計・工事の完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	排水路の測量設計と設置工事は、計画どおりに完了し、活動目標を達成した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	雨天時の多良間保育所前と多良間中学校前への水たまり発生回数 0回	目標	( )	( 0回 )	( )	( )	( )
		実績		0回			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	排水路の設置により、雨天時の多良間保育所前と多良間中学校前への水たまりの発生はなく、成果目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	排水路横の一部が畑になっているので、トラクター等での耕運時に耕土が排水路に入り込む懸念がある。	排水路に土が入り込まないように留意するよう農家に周知を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
排水路に土が入り込まないように農家に周知するとともに、道路や排水路の清掃を適切に実施し、排水路の機能確保に向けた維持管理を行う。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,178	11,178	8,942	2,236	0



資金の流 れ、 点 検 ・ 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者、工事施工業者は、指名競争入札で選定しており妥当である。 ○不用額はほとんどなく、適正な規模であった。 ○費目、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	